

トイレットペーパー雑学

毎日必ずお世話になっているものの一つにトイレットペーパーがあります。今回はその豆知識をご紹介します。

規格

トイレットペーパーの幅は、ホルダーにかける関係上標準化されています。日本の JIS 規格では 114mm に決められていて、芯の内側の直径は 38mm のものが主流ですが、紙の芯の入っていない、コアレスタイプのものもあります。長さはシングルで 60m、ダブルでは半分の 30m 前後が普通ですが、シングルで 2 倍以上巻いてある長尺タイプのものもあります。直径は、120mm 以下と決められていますので、大体のメーカーは直径 110mm で製造しています。

Q&A

- Q** 香り付きのトイレットペーパーはどうやって作る？
- A** 香料は芯の部分についていて、この香りが紙全体に広がるのです。
- Q** シングルとダブル、どちらが売れている？
- A** 全国の販売比率は、シングルが 39%、ダブルが 61% とダブルの方が人気のようです。
- Q** ミシン目の長さに決まりはあるの？
- A** 決まりはありません。各メーカーが使いやすさの研究によって間隔を決めているようです。

- Q** トイレットペーパーの価格がすごく安いことがありますか？
- A** 販売店によっては、特売の目玉に使うことがあります。この価格は仕入価格を下回る場合も。

間違った三角折りマナー

トイレに入るとトイレットペーパーの端が三角に折られていることがあります。この由来をご存知ですか？とあるホテルで、清掃済みだということを他のスタッフに伝える目印にしていたのが始まりだと言われています。

要は「清掃済み」マークということです。これを会社や家庭でも三角に折っている人がいます。マナーだと思って折っているのかもしれませんが、トイレを使用し、清掃してから折ったのでしょうか。

違いますね、用を足して、手を洗う前に折ったことになります。これではとても不潔になります。マナーでもなんでもありません。かえってマナー違反になってしまいますので、見てくれがいいので三角に折るよりは、使ったそのままにしておくのがマナーです。

当社扱い品

当社では、主に業務用再生トイレットペーパーを扱っております。

シングル・ダブルはもちろん、個包装で 100 個入りのものから、数個パック入りのものや、芯あり・芯なし・無包装の物まで色々ございますので、まずは営業にお問い合わせください。

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業1課
027-361-5734
営業2課
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio@kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ

天保8年（1837年）創業

スギウラ株式会社 027-361-5808

2010年7月1日 発行 第 37号

特 集

- 7月の話あれこれ
- 浮世絵の話
- 土用の丑の日
- トイレットペーパー雑学

7月の話あれこれ



7月になりました。海の日前後には梅雨も明けるでしょうし、本格的な夏の到来です。来月にはお盆の連休があり、帰省や旅行の計画を、今から立っている人も少なくないと思います。

さて7月をご存知の通り「文月」とも呼称します。その由来は7日の七夕に詩歌を献じたり、書物を風に曝（さら）したりする風習が元になっている、というのが定説です。ほかには稲穂が実を含む月であることから「含み月」「穂含み月」が変化したとされる説もあります。

英名 July は、ユリウス暦を作った共和制ローマのユリウス・カエサル（Julius Caesar）の名に因みます。月の名前に自分の名前を付けてしまうあたり、当時の彼の権勢が如何に凄かったかが想像されます。

そして7月といえば七夕。古くは「棚機」とも表されました。そもそも七夕とはお盆行事の一環でもあり、精霊棚とその幡を安置するのが7日の夕方なので、「七夕」と書いて「たなばた」と読むようになった、とされます。

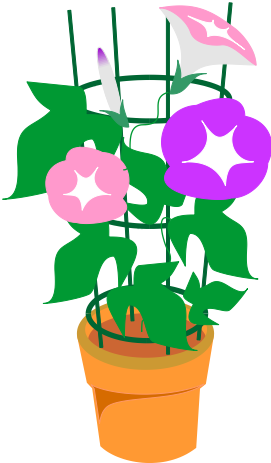
牽牛と織姫の物語はつとに有名な

ので割愛しますが、七夕の日実はあまり天気が良くないことが多いです（統計によれば東京の当日の晴れは約2割）。これは勿論梅雨の時期だからですが、そもそも旧暦の節句を無理やり新暦に当てはめたためこういうことになりました。

対して旧暦の七夕は約5割の確率で晴れております。月齢も、旧暦では必ず上弦の月になりますが、新暦ではまちまち。なので新暦に合わせると、月明かりで天の川が見えにくくなってしまうこともあります。節句は旧暦に合わせて作られたことが良く分かる一例ですね。

しかし七夕に降る雨を「催涙雨（さいるいう）」とも言い、織姫と彦星が流す涙雨であるとも伝えられます。そう考えると、七夕の雨も捨てたものではないかもしれません。

七夕の日は、織姫の織る機になぞらえてソーメンを食べるという習慣もあります。夏場で疲れた胃や内臓に優しいもの、という意味でも、当日の夕食のメニューにいかがでしょうか。



浮世絵の話

日本中いや世界中から、最先端のファッションを求めて人々が集まり賑わう原宿・表参道に、日本情緒あふれる美術館がある事を、皆さんはご存知でしょうか？

靴を脱いで入館するその美術館は「太田記念美術館」といい、浮世絵の展示を専門に行っています。

浮世絵（または錦絵）というのは、江戸時代中期～明治にかけて流行した多色刷りの木版画のことを主に指します。肉筆のものもありますが、庶民の間に広く流通したのは、木版画のものです。

北斎・広重・歌麿・写楽など絵師の名前がクローズアップされがちですが、浮世絵は絵師一人の力では成り立っていませんでした。絵師が元の絵（下絵）を描き、それを彫り師が版木に忠実に彫り、摺り師が摺っていました。人物の髪の毛一本一本や霞がかかった空など、絵師の下絵を再現するというのは相当な技術が必要で、熟練の職人たちがこれにあたっていたようです。

その他に、絵を町人に売る店や、どんな絵を描くか決める版元などが存在していました。絵師は「デザイナー」、彫り・摺りは「印刷業者」、絵を売る店は「書店」とおきかえれば、現在の商業印刷と同じような形態だったとは考えられないでしょうか？

当時の人々は、現代の私たちがポスターやブロマイド、週刊誌を買うのと同じ感覚で、絵を購入していました。

現在、浮世絵は世界的に高い評価を得ています。それは、独特の構図や表現方法など美術的に優れているだけでなく、庶民の間に広まっていたという文化的な価値があるからです。

同じ頃の西洋では多色刷（彩色）印刷物というのは、貴族や一部の金持ちしか手に入れる事はで

きませんでした。また絵画も同様に、庶民が娯楽のために絵を買う事はありませんでした。

これは、徳川幕府の統治の下、平和が長く続いたことはもちろんですが、版画に使われる「紙（和紙）」が手に入りやすかったというのも、理由の一つでしょう。多色刷りは数回にわたり版を重ねるので、その「摺り」に耐えられる紙がないと、美しい浮世絵を作り上げる事はできないのです。

浮世絵の摺りには、主に奉書紙が用いられた様です。奉書紙とは、楮を原料とした厚手の紙です。室町時代からつくられていましたが、幕府がこの紙を公文書として使ったことから、命令書の意味で「奉書」と呼ばれるようになりました。現在でも儀礼用ですとか、お札(ふだ)などに使われています。

文化的な成熟と優れた職人たちの技術、そして丈夫な和紙、これらが集まって、浮世絵は町人文化の「華」となりました。

庶民の間で流行した浮世絵。歌舞伎役者や有名な花魁(おいらん)・力士・各地の名所・物語の一場面の他に、当時の人々の暮らしぶりを描いたものもたくさんあり、現代に生きる私たちが見ても楽しめるものです。

西洋の重厚な名画も素晴らしいですが、たまには落ち着いて、江戸時代の人々に思いを馳せるのも、良いのではないのでしょうか。

(ほ)



営業1課・今月の商品紹介

☆ 封 筒

在庫拡充しました！既製品・別製品ともに、まずはお問い合わせ下さい。

土用の丑の日

万葉集 卷十六

「石麻呂に 吾物申す 夏度せに よしといふものぞ うなぎ捕り召せ」大伴家持

土用の丑とは

1000年以上も前から、夏ばてにはうなぎと言われていたようで、暑いときに食べるというのはたぶん自然に生活の知恵として定着していたのでしょうか。ではなぜ土用なのでしょうか？

これは、古代の中国から伝わった五行説に由来します。五行説では、天地間のすべての出来事は木火土金水（もっかどごんすい）の五つの要素からなり、四季もこれに当てはめようとなりました。春を木、夏を火、秋を金、冬を水に対応させたまではよかったのですが、土が余ってしまいました。これでは都合が悪いので、春夏秋冬からそれぞれ終わりの18日を削り、合計72日を土の分として割り当てることにしました。つまりこれが土用です。したがって土用は夏だけではなく、春、秋、冬にもあります。ただ、昨今は夏の土用だけが話題になり、そのほかの土用はほとんど取り上げられることはありません。

現在は、太陽黄経（注※）がそれぞれ27度、117度、207度、297度に達した日を土用の入りの日とし、立春、立夏、立秋、立冬の前日までを土用としています。そのため、それぞれの土用の日数は必ずしも18日ではなく、19日のこともあります。一方、丑の日は、子丑寅卯・・・の十二支を1日ごとに割り当てていった日の一つですから、12日ごとに回ってきます。したが

って、夏の土用の間に、丑の日が1回だけの年と、2回くる年とがあります。

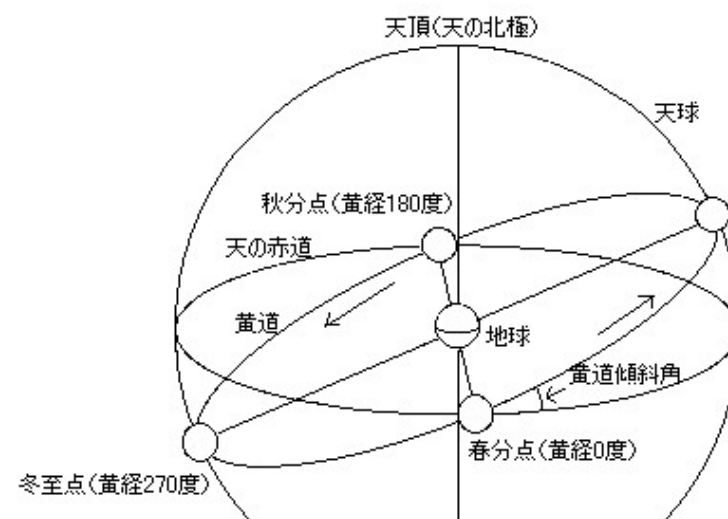
ちなみに今年は、7月26日の1回ですが、来年は、7月21日と8月2日の2回です。

なぜ土用の丑の日にうなぎを食べるのか？

一説には、皆さんも良く知っている江戸時代の発明家平賀源内が、売れないうなぎ屋のCMとして、《本日は土用の丑》として宣伝したと伝えられています。もう一つは、江戸時代の狂歌師、蜀山人が段々衰微していたうなぎ屋の盛り返しの一策として土用のうなぎの効力があると言い、特に丑の日にはうなぎは食あたりせぬといった意味の狂歌を作って宣伝したのが始めであるという話もあります。どちらにしても、宣伝効果は絶大だったようです。

うなぎの効能

うなぎは夏バテ解消によいと言われていきます。栄養価が高い魚で、白身魚ですがタンパク質が20%、脂肪分が21%と非常に多く、ビタミンB1、B2、Dも多いが、特にAが多量に含まれています。ビタミンAは夜盲症（トリ目）、皮膚のカサつき、骨や歯の成長に関係が深く、うなぎは体力増強、強精食として、スタミナの必要な夏に適した魚です。土用の丑の日にうなぎを食べる習慣は、先人達の経験に基づいた生活の知恵かもしれません。



注※ 黄経（黄道）

黄道は、地球から見た太陽の見かけの通り道のことである。天の赤道に対して23.4度傾いていて、黄道と天の赤道との二つの交点を分点という。このうち、黄道が南から北へ交わる方を春分点といい、春分点を起点（0度）として黄道を360度に分けたものが黄経である。